

愛知医科大学病院

病院長名	天野 哲也
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。充実した設備と最新の診療体制を整え、名古屋市東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。特定機能病院、高度救命救急センター、基幹災害医療センターなどに指定され、2017年5月1日付でNPO法人卒後臨床研修評価機構の定める認定基準を達成していると施設として4年認定の更新がされました。

2014年5月に新病院が開院し、「元気がいい外へあなたを元気にする。私も元気になる」を病院のテーマに、職員一丸となって日々精進しています。先進医療と最適な医療環境を提供し、患者さんが元気になって頂く事はもちろん、医療体制の分業化や本来業務の特化を図る事で、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

愛知医科大学産婦人科プログラム。

【研修目標】当専門研修の目標は、生殖・内分泌領域、婦人科腫瘍領域、周産期領域、女性のヘルスケア領域の4領域にわたり、十分な知識・技能を持ち、標準的な医療の提供を行うことです。また産婦人科専門医は必要に応じて産婦人科領域以外の専門医への紹介・転送の判断を適切に行い、産婦人科領域以外の医師からの相談に的確に応えることのできる能力を備える必要があり、メディカルスタッフの意見も尊重し、患者から信頼される医師である必要があります。

愛知医科大学病院産婦人科専門研修施設群での研修修了後は、主として愛知県の医療機関において産婦人科医療を中心的に支える役割を担い、もし本人の希望により本施設群以外（県外を含め）での就業を希望する場合にも、いずれの医療機関でも不安なく産婦人科診療にあたる実力を養えます。また、希望者はSubspecialty領域専門医の研修や大学院などでの研究を同時に開始する準備が整っている事も本施設群での研修の特徴です。

【研修期間】3年



□ 主な連携施設

社会医療法人大雄会総合病院 産婦人科、公益社団法人地域医療振興協会 市立恵那病院、医療法人社団正寿会秋山記念病院、医療法人淳和会内田クリニック、医療法人図書館通おかもとマタニティークリニック、さわだウィメンズクリニック、森永産婦人科、八事レディースクリニック、春日井市民病院、名古屋大学医学部附属病院

□ メッセージ

当院産婦人科は多忙ではありますが、家族的でアットホームな雰囲気です。是非、共に臨床、研究をという意志をお持ちの方は遠慮なくご連絡ください。

医師の出身大学などは全く無関係です。実際に我々の医局では、高知大学、大阪医科薬科大学、川崎医科大学、帝京大学、福島県立医大、名古屋大学などの出身者も在籍しています。腹腔鏡下手術の修練を希望される場合、多くの鏡視下手術を行っていますので、比較的早期での技術獲得が可能です。日本産科婦人科内視鏡学会の腹腔鏡技術認定医が4名、子宮鏡技術認定医が1名在籍しており、腹腔鏡技術認定研修施設にも認定されております。ダビンチ手術や子宮鏡手術の研修も可能です。婦人科腫瘍手術の修練環境も整備されつつあります。周産期領域でも近隣の先生方に多くの症例をご紹介いただいているので、多くの多彩な症例を経験することが可能です。もちろん、周産期専門医の修練施設でもあります。臨床遺伝専門医も2名在籍し、産婦人科遺伝診療へも取り組みを始めました。これから研究を志す方、あるいは病院で数年間働き、その後に学位論文の取得を目指す方なども大歓迎です。我々と共に働こうという志のある方、また少しでも興味のある方はお気軽にご連絡ください。

□ 募集要項

・採用予定人数	6人
・給与／月額	月額:436,644円(免許取得後3年目医師の平均、R6年度実績より算出、別途賞与支給あり) ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数／月	大学:5~6回 (救急外来)宿直手当 約39,000円 (病棟)宿直手当 20,000円
・当直料／回	
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与(年2回)、社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金)),健康診断 ※産婦人科では毎週1日(午前・午後)外勤当直などの輪旋があります。
・応募連絡先	担当者 仲西 菜月 電話番号 0561-62-3311 Eメール nakanishi.natsuki.638@mail.aichi-med-u.ac.jp